



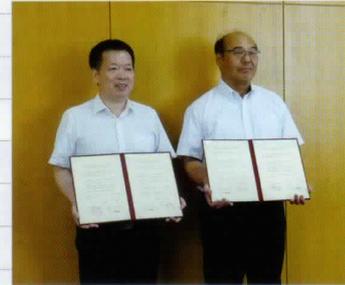
令和  
元年度

## 「中国浙江省麗水学院附属高級中学交流事業」



### 「麗水学院附属高級中学と静岡県立三島南高等学校との教育を通じた友好交流に関する覚書」調印式

令和元年7月23日(火)三島南高校にて、「中国浙江省麗水学院附属高級中学交流事業」及び「教育を通じた友好交流に関する覚書」調印式が行われました。三島南高校は平成30年度、創立100周年を迎え、これを機会に海外の高校と姉妹校交流してはどうかとの提案で姉妹校を探していたところ、静岡県・浙江省友好提携35周年記念式典に参列した南高職員が浙江省教育庁外事処長と知り合い、相手校を紹介して頂いて交流に至りました。昨年12月22日～26日に南高生が麗水市を訪れ、今回、麗水学院生15名、丁閩方校長、毛春婉先生、朱麗先生、通訳の李虹さんが三島市を訪れました。



(左から) 長岡事務長、高嶋教頭、伊藤副校長、小川校長、丁校長、毛先生、朱先生、李虹さん

午前中に三島市長へ表敬訪問を行い、南高校へ移動した後、南高生と共におにぎり作りや、南高生が考えたゲーム、ステンシルアートを体験し、弓道など日本の部活動を見学して、ホームステイ先のご家庭へ。その後、南高校応接室にて小川校長、丁校長による調印式が行われました。「今後は、ICTなどを活用しながら交流方法を模索し、両校の生徒や教師の交流を深めていきたい」と両校長は、固い握手を交わしました。

## James Molloy - MIRA Newsletter #21

### JIMのみしまものがたり②

#### かわせみと新幹線

源兵衛川を水の苑緑地に向かって歩いていくと、写真家たちが大きなズームレンズを携えて三島市の鳥・かわせみを写真に収めようとしている姿に出くわすかもしれません。とがったくちばしに翡翠のような羽色、鮮やかなオレンジ色の腹部は本当に美しく、写真映えます。ご存知でしたか？実はこのかわせみが、三島が静かで平和であることにひと役買っていることを・・・。



時をさかのぼること、1980年代。時速350kmの試運転を始めた新幹線は、高速でトンネルに突入すると大きな抵抗の変化で生じた微気圧波により、出口周辺で大きな音がしていました。いわゆる『トンネルドン』と呼ばれる現象で、この大きな問題を解決する革新的な方法が求められていました。

そんなとき新幹線の開発者であり、バードウォッチャーでもあった仲津英治氏は、かわせみが水中に飛び込む時ほとんど水しぶきをあげないことに気づきました。理由を探り、妙技のカギはかわせみのくちばしにあることがわかりました。水に潜る時の抵抗を減らすため、かわせみのくちばしは長く鋭い四角錐の形をしているのです。

これを応用し、かわせみのくちばしの形状に似せた、より静かな次世代新幹線が誕生しました。



500系新幹線の先頭を長さ15mの流線形、そして断面をほぼ円にすることで、走行抵抗が30%、消費電力が15%減る一方、スピードは10%増え、よりなめらかで快適な乗り心地を実現したのです。

今度みなさんが新幹線に乗り、コーヒーを片手にゆったりと心地よく座っているとき、仲津氏とかわせみのことを思い出すかもしれません。この二者のおかげで、さらに効率的でくつろいだ旅を楽しむことに感謝したいですね。